

2018 年度 植林報告

以下のように、植林作業を実施したことを報告します。

1. 植林作業実施概況

植林 実施日	春季	植林作業・・・・・・・・・・2018年5月5日～20日 新規植林地 約20ha 新植林本数 50,000本
植林場所	モンゴル国セレンゲ県 アルタンボラグ村ゴロワンツァガントルゴイ周辺	
樹種	ヨーロッパアカマツ <i>Pinus sylvestris</i> (在来種) の2年生苗	
植林作業	ジャムスレン (GNC Mongolia 現地相談役) オグナー (GNC Mongolia スタッフ) サラ (GNC Mongolia スタッフ) アルタンボラグ村及びボゴント村の村民など約100名 (延べ人数)	

2. 2018年植林地の概況報告

今年の植林地は国境の町アルタンボラグ村より約60km東方に位置している。植林地周辺はもともと林であったが2009年6月の林野火災や伐採により草地化が徐々に進んでいた。豊かな生態系を持つ森林を早期に復元するため、植林により森林再生を行う。

現在は行政主導のもと、村役場や森林組合がパトロールを行い、不法伐採を防ぎ、火災の早期発見・初期消火活動を行っている。

苗木はボゴントから良質の苗木を輸送した。使用したのは40cmの2年生アカマツ苗である。古木、草や岩が多く、植林前にチェーンソーで古木を切り草を抜き、岩をどかしながら溝を掘って二人一組で効率よく植え付けを行った。地面に大きく溝を掘り、一番太陽が当たらない端の部分に苗木を植え、日光の当たり過ぎを防ぎ乾燥を避けます。大きな溝には雨が溜まり、乾燥を防げるようにしている。

植生はイネ科やキク科の下層植生が密生している。土壌は砂質壤土で保水性が良好だった。

昨年は深刻な干ばつで苗の成長も危ぶまれたが、今年は雨が多いようだ。苗が大きく成長することを期待する。

今年度の植林密度は2500本/ha、春季植林が完了したことを報告する。

3. 植林時の写真



遠景



測量



チェーンソーを使った整地



苗の一時保管（乾燥防止）



作業期間に宿泊するゲル



植林作業



植林した苗

植林した苗

4. 今後の展望

- ① 2017年5月にウランバートル近郊の苗畑で育てた苗木を2019年春季にセレンゲ県植林地やウランバートル市内に植林する。
- ② ウランバートル市内の遊園地にGNCの庭園を造り市民の憩いの場にする。
- ③ 新しい情報を入手し技術・知識面で成長するため、ロシアでの育苗の研究・研修・勉強会・交流会をする。
- ④ ウランバートル市内の幼稚園児と一緒にジャガイモなどの農作物の植え付けや収穫を体験できる機会を作る



苗畑の様子